

校長室の窓

No. 1



3月に男子28名、女子37名、合計65名が巣立ちました。下級生の模範としていろいろな場面で美和小学校をリードしてくれた自慢の6年生でした。後を受ける新6年生も先輩に負けず自覚を持って、しっかりと学校をリードしてくれると信じています。

さて、4月6日、満開の桜が咲き誇る中、男子30名、女子49名、合計79名の新入生が入学して参りました。新入生の子どもたちが保護者の皆様に手を引かれ、希望に満ちた眼差しで校門をくぐり、体育館へ入場する姿に初々しさとともに保護者の皆様から愛情一杯に育てられた温かさを感じることができました。

教職員一同、与えられた責任の重さを痛感するとともに、子どもたちと一緒に成長できる喜びを与えられたことに感謝いたしております。

また、在校生を代表して新6年生が式に出席しました。開式に際して新入生の手を取り席に導く姿や式での態度に、優しさ、そして、最上級生としての自覚と責任を感じることができ、うれしく思いました。



翌7日には、新1年生を加えて全校児童440名で始業式を行い、新年度の教育活動をスタートさせることができました。今年度も昨年同様、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

始業式の講話として、子どもたちに二つのことを話しました。

一つ目は、「挑戦と継続」についてです。

子どもたちは、新しい学年になったら「何をがんばろうか」といろいろ考え、心に決めて登校してきました。「いっぱい手をあげるぞ」「音読を一年間がんばるぞ」「みんなに優しくしよう」「水泳や陸上などの運動を続けてがんばろう」など、どの子の顔もやる気で輝いていました。

しかし、それを成し遂げるには、まず最初の一步を踏み出すこと、そして、それを続けることが大切です。アニメ『ドラえもん』の中で、ドラえもんがのび太を、「毎日の小さな努力の積み重ねが、歴史を作っていくんだよ!!」と励まします。今日の努力はすぐには結果として現れないかもしれないけれど、小さな積み重ねがやがて驚くほどの大きな成果となって見えるようになります。子どもたちには、目標を立て、それに向かって挑戦をし、地道にコツコツ努力できる人になってほしいと思います。子どもたちが自己実現を図り、さらなる可能性に向かって進んでいけるようにしていきたいと思います。

二つ目は、「元気な挨拶」です。

挨拶は心と心を結ぶ言葉の第一歩です。「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」など、元気な挨拶があふれる美和小学校になってほしいと思います。また、学校だけでなく、地域で、家庭で、しっかりと挨拶のできる子になってほしいと願っています。地域の皆様、子どもたちが挨拶ができていたら、どうぞ褒めてあげてください。できていなかったら、遠慮なくご指導ください。また、その様子をぜひ学校にもお知らせください。一体となって子どもたちを育てることができればと願っています。

保護者の皆様、地域の方々、日々ご多用とは存じますが、本年度も是非学校にお出かけいただき、子どもたちの姿を見て、応援や激励の言葉をかけていただけると幸いです。よろしくお願いいたします。



【校長 前田 健治】